

ビジネスメール詐欺かも

ビジネスメール詐欺とは、取引先や自社の社長（経営者）などになりすまして入金を促す詐欺のことです。

事例

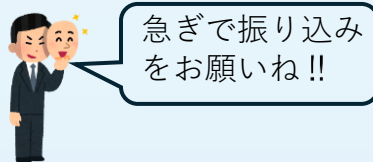
① なりすまし

取引先や社長（経営者）等になりすまし従業員へメールを送信



② 指示・要求

「至急、振り込んで欲しい」等メールで送金を指示



③ 発覚

送金後、取引先等に確認して詐欺被害が発覚



こんな時は注意！



普段と違う連絡方法

普段と違う、個人へのメールやメッセージアプリでの指示には注意しましょう。



送金先の変更、緊急の送金

送金先の変更、緊急の送金等に関するメールを受信した場合は、特に注意してして下さい。



【至急】等と記載のメール

【至急】等の急かす文字が記載されている時こそ慎重に！

被害を防ぐために



メール以外の方法でも確認

送金に関するメールを受信した際は、電話等のメール以外の方法で確認をしましょう。



複数人での確認

通常と異なる方法での指示が届いた場合は、複数人での確認をしましょう。



組織内での情報共有

不審メールを確認した場合は、被害を防ぐため、組織内で情報を共有しましょう。

被害に遭ってしまったら

- 送金元の銀行に送金のキャンセル等の手続きを依頼する。
- 警察に通報・相談する。

